



文化庁文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等機能強化推進事業
独立行政法人日本芸術文化振興会



劇団たんぽぽ 北海道・宮城県・長野県・静岡県巡回公演

厚生労働省推薦

わが命 ゆずり葉のごとく

あなたたちへ



ゆずり葉の季節 はる

絵 石川 拓人



2018年 9月1日(土) 旭川市公会堂(旭川市常磐公園内)開演 / 15:00 (開場30分前)

●料金 / 前売1,500円 当日2,000円 学生1,000円 (小学校低学年以下の入場はご遠慮下さい。) (全席自由)

【チケット取り扱い】・旭川市民文化会館売店 TEL0166-26-1059 (9:00~18:00)

チケットぴあ <http://ticket.pia.jp/pia/event.ds?eventCd=1830573>
0570-02-9999 (Pコード: 487872) セブンイレブン、チケットぴあ本舗(コーチャンフォー旭川店)

主催: 公益社団法人教育演劇研究協会 / 劇団たんぽぽ

後援: 北海道、北海道教育委員会、旭川市、旭川市教育委員会、一般社団法人北海道医師会、一般社団法人旭川市医師会、
社会福祉法人北海道社会福祉協議会、公益社団法人北海道社会福祉士会、一般社団法人北海道介護福祉士会、
社会福祉法人旭川市社会福祉協議会、一般社団法人北海道介護支援専門員協会、公益社団法人北海道看護協会、
一般社団法人北海道薬剤師会、一般社団法人旭川薬剤師会、一般社団法人北海道歯科医師会、
一般社団法人旭川歯科医師会、北海道新聞社、AIR・G'エフエム北海道

公益社団法人 教育演劇研究協会



【電話予約・お問い合わせ】 劇団たんぽぽ TEL:053-461-5395 FAX:053-461-6378



はる ゆずり葉の季節

作・松下哲子 演出・ふじたあさや 立案:小野宏志(国療法人社団心)
音楽:川崎絵都夫 美術:矢野田輝博 照明:坂本義美 音響:山北史郎
衣装:たんぽぽ衣装部 制作:上保節子

～家で看取る～ もし、あなたの家族が家で死にたいと言ったら、あなたはどうしますか？

【あらすじ】

制服を着て、カメラの前に立つ美咲。美咲は、この春から、中学生になる。

美咲のすぐ隣には、ベッドに横たわる祖母とし子。そして、父、母、叔母。さらに、とし子のかかりつけの医師や看護師がとし子を囲み、カメラに向かって笑っている。幸せそうな家族写真だ。しかし、この時、すでにとし子は、亡くなっている。なぜ、こんな写真を撮ることになったのか。撮ることができたのか。

初めて、身近な人の命と向き合うことになったとき、家族それぞれの思いが交錯する。

「旅立つとし子が残したものとは？」「それを受け取った家族の想いとは？」

【交通アクセス】旭川市公会堂

旭川市常盤公園内

TEL…催し物がないときは、常駐していないため
市民文化会館へ。TEL0166-25-7331

- JR 旭川駅より徒歩 15～20 分
または、タクシー（約5分）か路線バス（約10分）
- 公園内に駐車場あり。数に限りがあるので、停められない場合は近隣の有料駐車場へ。



チケット取り扱い

・旭川市民文化会館売店 TEL0166-26-1059(9:00～18:00)

・チケットぴあ(Pコード:487872)<http://ticket.pia.jp/pia/event.ds?eventCd=1830573> セブンイレブン、チケットぴあ本舗

※FAX(053-461-6378)でお申し込みの方は、以下の申込書をお使いください。チケットは当日受付にて引き換えになります。

ふりがな 氏名		〈お申込み枚数〉 一般 枚 学生 枚
連絡先 住所	〒	
電話	() -	

電話予約
お問い合わせ

公益社団法人 教育演劇研究協会



〒435-0015 静岡県浜松市東区子安町323-3

☎ 053-461-5395 FAX 053-461-6378

<http://www.gekidan-tanpopo.com/>

ホームページの
お問合せフォームからも
予約できます。



演劇で観る「ささえあう命」のお話

～人は誰もが老い、いつか最期を迎えます。その最期を地域で暮らすために・・・～

ご覧いただいた方々の感想より

- ・笑いあり、涙ありの素晴らしい舞台でした！！医療者側、家族側、そして何より本人さんの感情がリアルでした。
- ・ケアマネをしています。ご家族の方や、利用者様の事、考えるいい機会になりました。
- ・いろいろな立場、いろいろな人の感情が生々しく、涙があふれ、みんな同じ気持ちなのだと思わせてくれました。
- ・笑いあり、感激あり、素晴らしかったです。
- ・人生を生き切る中で、家族の在り方、大切さを学びました。
- ・涙を流したのは、久しぶり。生きる尊さと会話の大切さを知った。
- ・愛する家族に見守られながらも死の深淵に向かうことの心の動きを深く感じることにしました。命を紡ぎ、つながっていく。私は何を残せるか。一日を精一杯生きていこうと感じました。
- ・現実的にはどうかなあ？今、自分は、この問題に悩んでいる所です。
- ・ぜひ、中学校、高校で公演をしてもらいたいと思いました。これからの若い人たちに観てもらいたい。
- ・看護師として、働いています。大変興味あるセリフや家族の気持ち、考えさせられました。これからのかわり方を大切にしていきたい。

静岡新聞 (2017年3月4日掲載)

介護問題 演じ訴え

劇団たんぼぼ70周年公演 浜松
劇団たんぼぼ内4カ所を回り公演する。県内外で劇を披露する浜松市東区の「劇団たんぼぼ」の創立70周年記念公演(10月19日)が3日、同日浜松市東区・静岡放送後援の家族を描いた物語「介護問題」をテーマにした演目を披露した。20日までの間、県



創立70周年記念公演で劇を披露する団員
＝3日午後、浜松市浜北区の浜北文化センター

県内外で劇を披露する団員
500円、当日2千円。
問い合わせは劇団入会
053(40)53
053(40)53
053(40)53
時間。かつて内は観覧
時間。
豊田市長総合施設
14日午後7時(16日午後7時) 牧之原市相良総合センター(16日午後7時) 浜松市清水文化会館マリーナ(16日午後7時) 浜松市福祉交流センター(20日午後2時50分)

生きて 生きて 子どもたち
親から子へとつながり続けるバトン
めぐる命 今ある奇跡
命の軌跡 ゆずり葉
～テーマソングより～

信濃毎日新聞 (2017年6月30日掲載)

長野で旗揚げ 劇団「たんぼぼ」創立70年

帰郷公演で「助け合い」考えて



劇団たんぼぼが、長野市で旗揚げ70周年記念公演(19日)を行い、地元を訪問した。旗揚げ70周年を記念して、長野市で旗揚げ70周年記念公演(19日)を行い、地元を訪問した。旗揚げ70周年を記念して、長野市で旗揚げ70周年記念公演(19日)を行い、地元を訪問した。旗揚げ70周年を記念して、長野市で旗揚げ70周年記念公演(19日)を行い、地元を訪問した。

佐久と長野で16・17日に記念公演 在宅でのみとり テーマに

16日(佐久市)と17日(長野市)に、旗揚げ70周年記念公演を行い、地元を訪問した。旗揚げ70周年を記念して、佐久市と長野市で旗揚げ70周年記念公演(16・17日)を行い、地元を訪問した。旗揚げ70周年を記念して、佐久市と長野市で旗揚げ70周年記念公演(16・17日)を行い、地元を訪問した。

「家でみとる」 テーマに演劇



中日新聞 (2018年2月13日掲載)